

<はじめに>

企業における IT の活用は、業務の効率化、生産性向上だけでなく、新たな付加価値創造に向けた取り組みへの舵が切られはじめている。現代社会の発展を支える IT は、今後も留まることなくイノベーションが加速度的に進展し、未来の産業・社会に大きな変革の波をもたらすことになるだろう。

昨今、モノとインターネットの融合により新たな付加価値を創造する IoT (Internet of Things) への注目が非常に高まっている。米国、欧州等の世界の国・地域、様々な産業や企業において、IoT を戦略に掲げた取り組みが進められていることがその背景にあり、我が国日本でも、2015 年 6 月 30 日に閣議決定された『日本再興戦略』改訂 2015 - 未来への投資・生産性改革 - にて、重要施策の一つとして、IoT への取り組みが掲げられた。その他のトレンドとして、ソーシャルコンピューティングの普及、ビッグデータ活用の本格化、人工知能やロボットの高度化など、テクノロジーの加速度的な進化が続いているほか、注目すべき新たな取り組みが次々と登場している。こうした新たなテクノロジーの登場・進化とその普及・進展は、今後、産業構造や企業の競争環境の変革に留まらず、個人のライフスタイル等を含む社会全体にも多大な影響を及ぼすと考えられる。

こうした大きな変革の波の中で、企業にとっての多大なる成長可能性を認識し、その果実を得るための戦略方向性を考えるうえで、テクノロジーの動向とそれらがもたらしうる産業・社会への影響を把握しておくことは、企業経営において重要な行動様式と考えられる。斯かる認識のもと、本レポートは、あらゆる産業・企業に大きな可能性とインパクトを与えることが想定される“IoT”というキーワードを中心に位置付け、次の 2 部構成としてまとめた。

第 1 部では、IoT の全体動向として、IoT の概念整理から始め、昨今の市場動向や国内外の企業動向等を示した上で、普及に向けた課題、日本企業における IoT への取り組みの方向性を示した。第 2 部の前半では、IoT の応用分野として、移動・物流、生活・くらし、ものづくりを取り上げ、IoT が実際に社会の中でどのように実現するのか、IoT によって社会がどのように変わるのか、という点について、先進的なテクノロジーの進展・活用事例等に関する調査を行った上で、未来社会におけるライフスタイルや産業の姿を示した。第 2 部の後半では、IoT を支える基盤に着目し、人工知能とセキュリティの動向を解説した。また、IoT に関連する最前線の領域で活躍する有識者へのインタビューを通じて、IoT 時代を切り拓く人材の姿を示した。

本レポートは、みずほフィナンシャルグループにおいて、電機・IT・通信・メディア産業に関する業界・企業動向の調査及びアドバイザリ業務等を担当する、みずほ銀行 産業調査部電機・IT・通信チームが第1部を執筆し、情報通信産業政策や情報化戦略に関する調査研究及びコンサルティングを担当する、みずほ情報総研経営・ITコンサルティング部が第2部を執筆した共同レポートである。

なお、本レポートの作成にあたっては、2015 International CES、Mobile World Congress 2015 でのIoTに関する最新の展示やプレゼンテーションのほか、IoTに関する複数の企業関係者や有識者の見解や意見を参考とした。本調査のために貴重な時間をいただいた方々に、この場を借りて改めて御礼申し上げたい。

©2015 みずほ情報総研株式会社・株式会社みずほ銀行

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、弊社が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、弊社はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、貴社ご自身の判断にてなされますよう、また必要な場合は、弁護士、会計士、税理士等にご相談のうえお取扱い下さいますようお願い申し上げます。

本資料の一部または全部を、①複写、写真複写、あるいはその他如何なる手段において複製すること、②弊社の書面による許可なくして再配布することを禁じます。